

TOTO

# 台所用シングルレバー混合栓(ハンドシャワータイプ)


## ニューウエーブシリーズ TKW32P型




商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

### 1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)


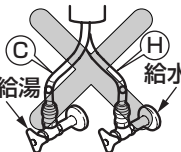



取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。


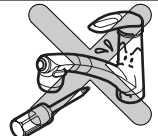

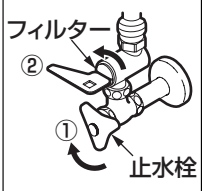
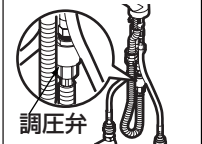



表示	意味
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

### 注意

 <b>禁止</b>	湯水を逆に配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
	強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。	
	アルカリイオン水生成器用本体分岐金具を取り付けしないでください。 アルカリイオン水生成器の接続ホースが外れ、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	

### 注意

 <b>分解禁止</b>	修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。 故障や水漏れの原因になります。	
 <b>必ず実行</b>	フィルターを掃除する際は、いきなりフィルターを緩めずに、止水栓を閉めてから行ってください。また、給湯ホースが熱くないことを確認してください。 湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
	必ず調圧弁を取り付けてください。 調圧弁と組み合わせて使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり完全に水が止まらないため、水漏れし家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
	凍結が予想される場所でご使用になる場合は、配管部に保温材を巻いてください。また、寒冷地用の場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照の上、凍結予防を確実に行ってください。 部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 <b>禁止</b>	<b>寒冷地用</b> 水抜コックは水抜き以外の目的で開けないでください。 水抜コックをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	

## 2

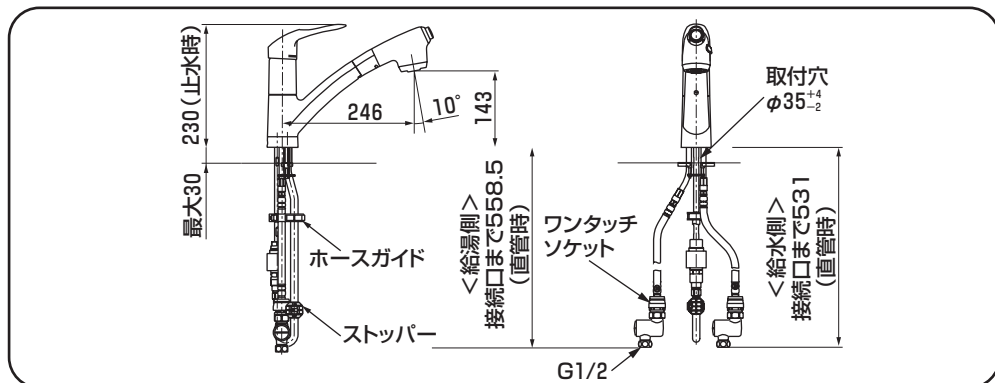
## 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.07MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅台所用

## 3

## 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



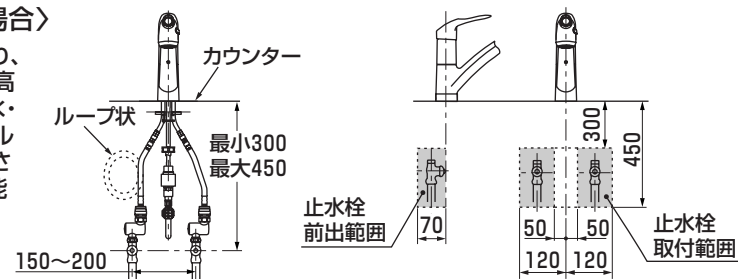
## 4

## 取付け前に

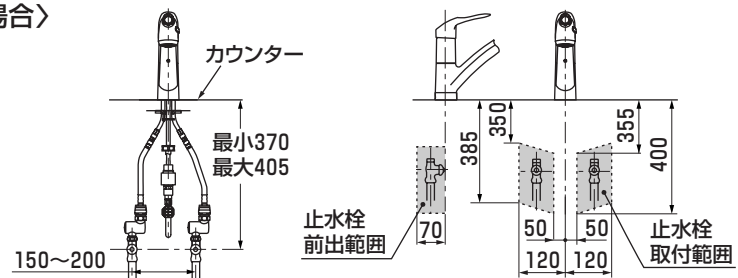
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。  
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2MPa程度の圧力をおすすめします。ウォーターハンマーやバルブ開閉音が低減します。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。  
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- 水勢調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。下図に示す範囲内の止水栓位置にて、施工が可能です。

### <一般地用の場合>

※一般地用に限り、止水栓位置が高い場合は、給水・給湯ホースをループ状に施工させることも可能です。



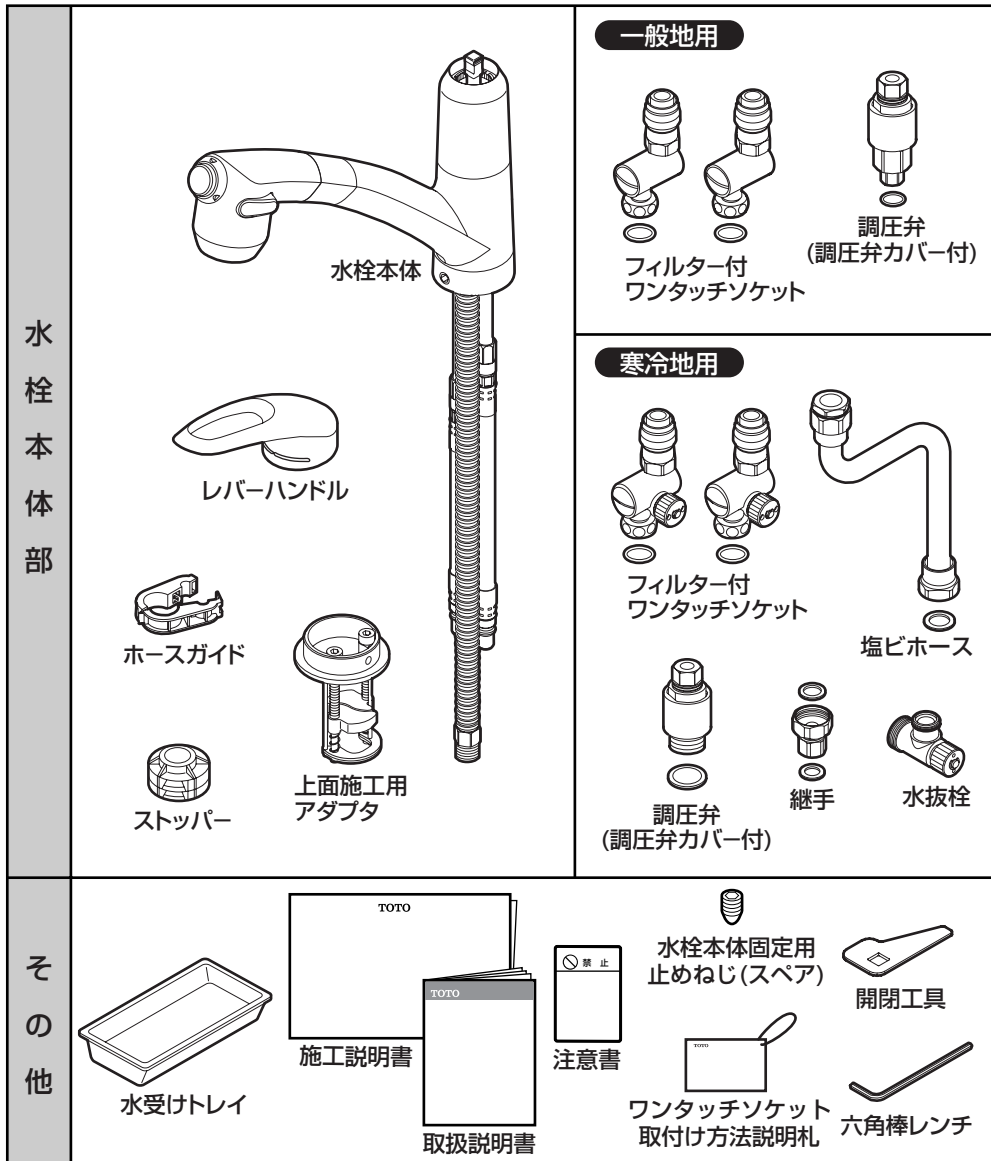
### <寒冷地用の場合>



# 5

## 部品の確認

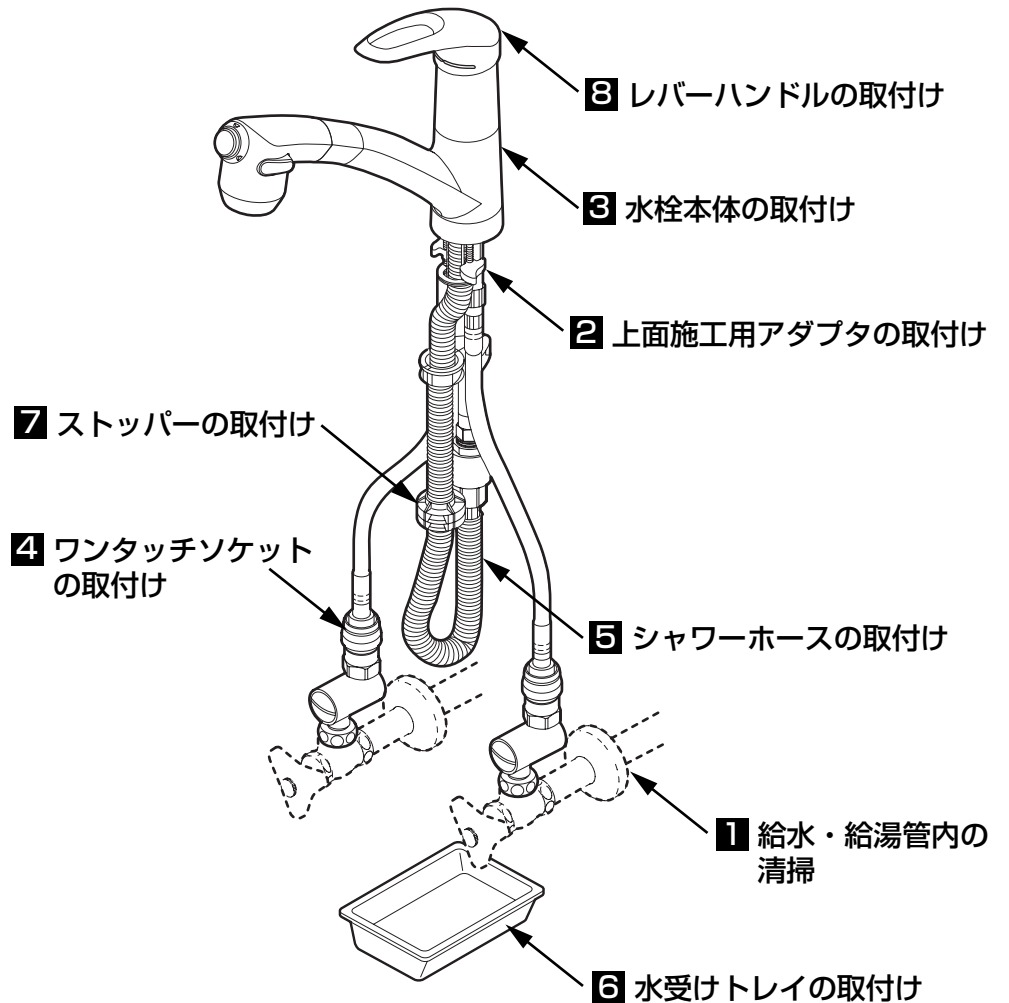
次の部品があることを確認してください。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。  
 ※品番によっては、水受けトレイは同梱されていません。

# 6-1

## 施工手順



### 1 給水・給湯管内の清掃

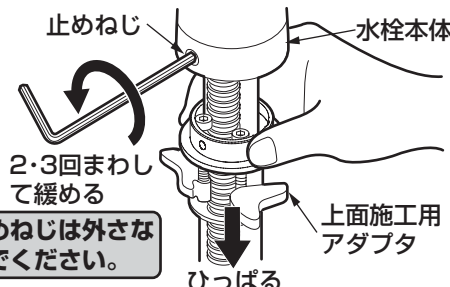
取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

**重要**

## 2 上面施工用アダプタの取付け

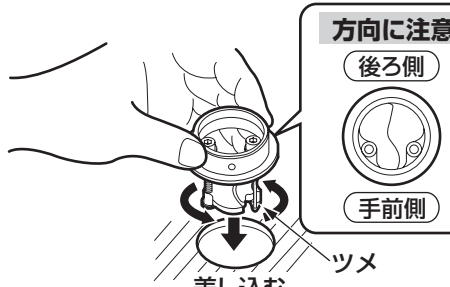
### 上面施工用アダプタ施工上の注意点

- 上面施工用アダプタは、**正しく取り付けて**ください。  
カウンター内への水漏れや、水栓本体の固定強度が低下して本体にガタが発生するなど、不具合の原因となります。
- ステンレス製カウンターで補強板がない場合は**固めの補強板を取り付けて**ください。
- 補強板が**十分乾燥した状態で取り付けて**ください。
- 補強板に湿り気がある場合は水気を拭き取り**ドライヤーで乾かして**ください。
- 取付面に**養生シート**などがあれば取り除いてください。
- 取付可能なカウンター穴径は **φ33~φ39** です。
- 電動ドライバーを使用する場合は、クラッチ作動トルクを**2~3.4N・mの範囲**に必ず設定してください。  
尚、クラッチ回転速度を**「低速」にしないで**ください。  
トルクが大きくなり、器具が破損するおそれがあります。

- ① 水栓本体下部の止めねじを緩める。  


止めねじ 水栓本体

2・3回まわして緩める  
止めねじは外さないでください。

上面施工用アダプタ  
ひっぱり
- ② 上面施工用アダプタを外す。
- ③ ツメを閉じた状態にする。
- ④ 上面施工用アダプタをカウンターの穴に差し込む。  


方向に注意  
後ろ側  
手前側

差し込む ツメ

**注意**

上面施工用アダプタの方向に十分注意してください。

- ⑤ **手前に当たるまで** ずらす。

**注意**

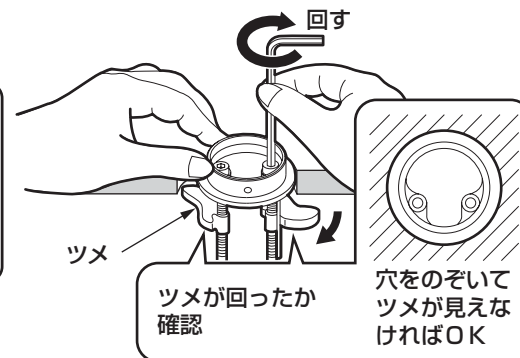
手前にずらさないと水栓本体のガタツキ発生やカウンター内への水漏れのおそれがあります。



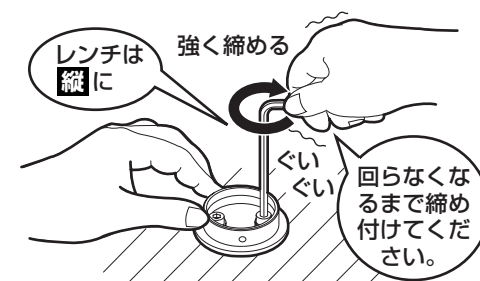
- ⑥ ツメを広げる。

**注意**

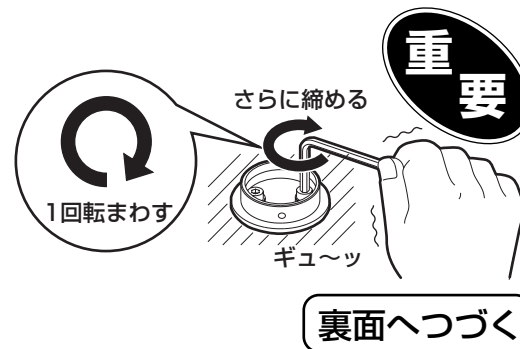
締付け後は、固定ツメが回っていることを確認してください。固定ツメが回っていない場合、一度ボルトを緩めた後、再度締め直してください。



- ⑦ 六角棒レンチを縦にしてボルトを左右均等に締める。



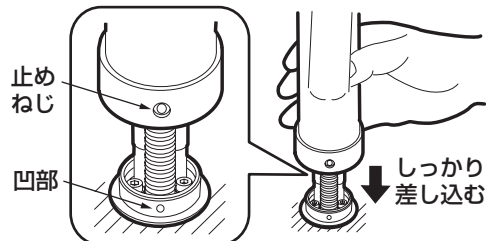
- ⑧ さらに六角棒レンチを横にしてボルトを**1回転増締めして**確実に固定する。





### 3 水栓本体の取付け

- ①先にシャワーホースを上面施工用アダプタに通し、給水・給湯ホースを通す。
- ②水栓本体の止めねじと上面施工用アダプタの凹部をあわせるようにしっかり差し込む。

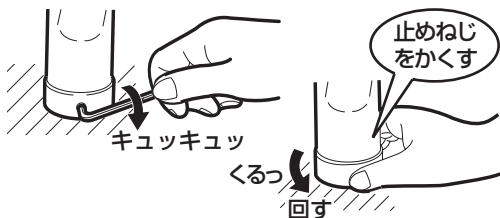


※水栓が入らない場合には、止めねじを少し緩めてください。

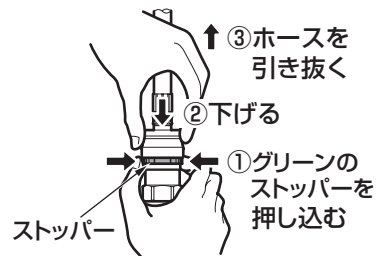
#### 注意

水栓本体に浮きがないよう注意してください。

- ③水栓本体の止めねじを締めて水栓本体を固定する。
- ④カバーを回し、止めねじをかくす。

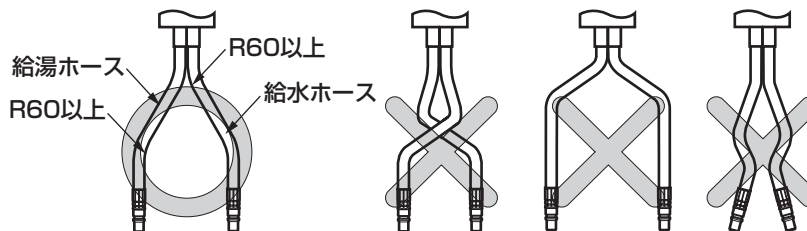


### <ワンタッチソケットを取り外す場合>



### 給水・給湯ホース施工上の注意点

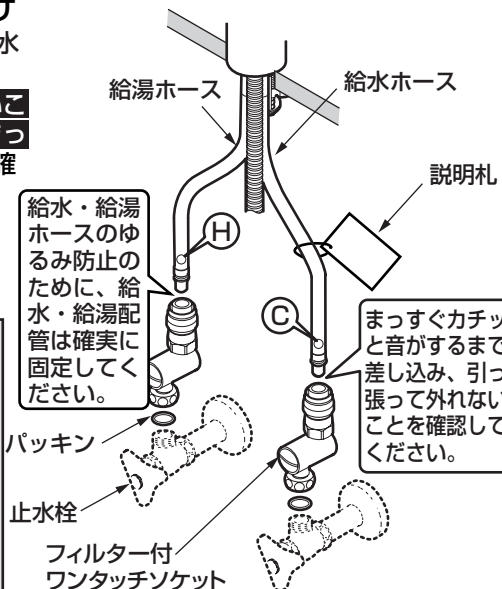
- ホースを**必要以上の力で曲げて折らないように**注意してください。万一反折した場合は、指でつまんで元通りにしてください。
- ホースの折れに、ご注意ください。ホースの**最小曲げ半径は60mm**です。それよりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れ、折れた部分で早期破損を生じる可能性があります。
- ホースを**水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで**ください。
- ホースを**無理に引っ張らないで**ください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の**不要な接触は避けて**ください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



### 4 ワンタッチソケットの取付け

- ①フィルター付ワンタッチソケットを止水栓に固定する。
- ②給水・給湯ホースに**異物の付着がないこと**を確認し、ワンタッチソケットに**まっすぐ奥まで（カチッと音がするまで）**確実に差し込む。

※この際、同梱の「ワンタッチソケット取付け方法」の説明札を必ずホースに通してください。



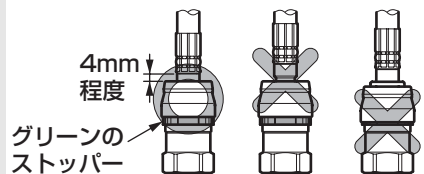
給水・給湯ホースのゆるみ防止のために、給水・給湯配管は確実に固定してください。

まっすぐカチッと音がするまで差し込み、引っ張って外れないことを確認してください。

#### 取付け後の確認

#### 重要

- ホースをまっすぐ引っ張って外れないこと
- 奥まで確実に差し込まれていること



## 5 シャワーホースの取付け

### 一般地用の場合

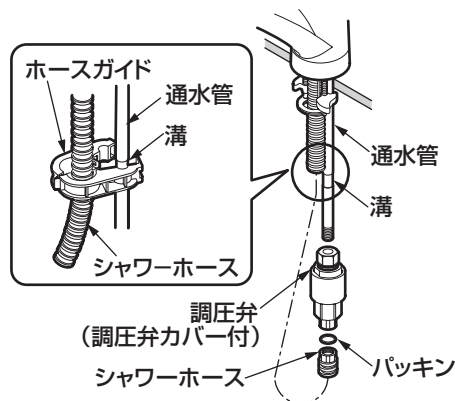
- ①通水管に調圧弁を工具（モンキーレンチなど）を使用し、確実にねじ込む。
- ②シャワーホースを調圧弁下部の袋ナットへ取り付ける。

### 注意

- パッキンが入っていることを確認してください。
- 必ず調圧弁及び調圧弁カバーを取り付けてください。

調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れするおそれがあります。

- ③ホースガイドにシャワーホースが通るようにしてホースガイドを通水管の溝にしっかり取り付ける。



### 寒冷地用の場合

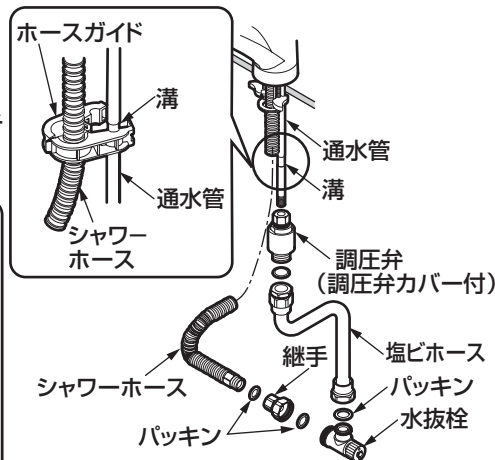
- ①通水管に調圧弁を工具（モンキーレンチなど）を使用し、確実にねじ込む。

### 注意

- パッキンが入っていることを確認してください。
- 必ず調圧弁及び調圧弁カバーを取り付けてください。

調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れするおそれがあります。

- ②調圧弁にパッキンを取り付け、塩ビホースを締め付け、更に水抜栓を締め付ける。
- ③水抜栓にパッキンを取り付け、継手を取り付け、シャワーホースを締め付ける。
- ④ホースガイドにシャワーホースが通るようにしてホースガイドを通水管の溝にしっかり取り付ける。

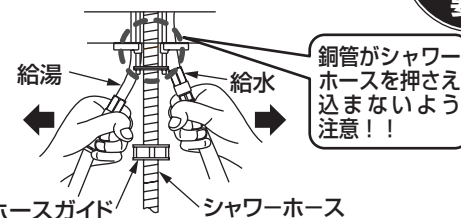


## シャワーホース施工上の注意点

重要

ハンドシャワーを引き出し、シャワーホースがスムーズに動くか確認してください。シャワーホースがスムーズに動かない場合は、給水・給湯の銅管及びホース部がシャワーホースを押さえ込まないように、銅管を曲げて施工してください。

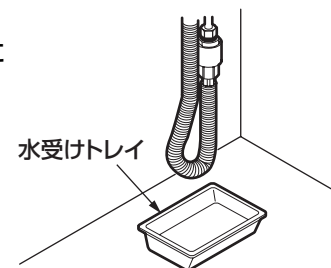
また、ホースガイドは必ず取り付けてください。



## 6 水受けトレイの取付け

水受けトレイは万一ホースの伝い水がキャビネット内に落ちた場合の受け皿となります。

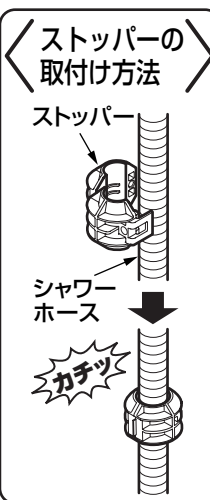
- ①キャビネット床面のごみ、ほこりを取り除く。
- ②水受けトレイ底面の接着テープの紙をはがし、キャビネット床面に強く押し付けて固定する。  
※できるだけ水栓本体の真下に設置してください。  
※品番によっては、水受けトレイは同梱されていません。



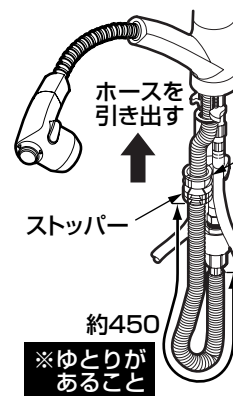
## 7 ストッパーの取付け

ストッパーを下図の要領でシャワーホースに取り付ける。

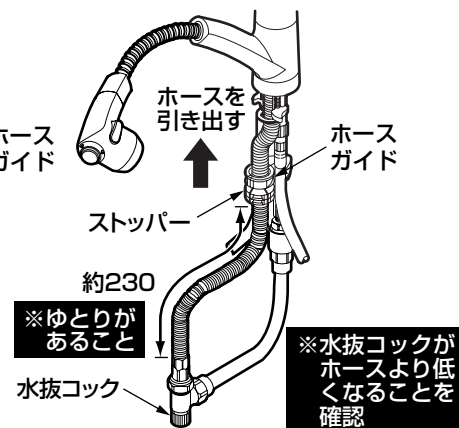
※ホースを引き出した状態（ストッパーはホースガイドに接触するまで）でホースにゆとりがないときは、ストッパーを適当な位置にずらしてください。



### 一般地用の場合



### 寒冷地用の場合



## 8 レバーハンドルの取付け

- ① ストッパーの浮きや外れがないか確認する。  
 ※浮きや外れがある場合はカートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押し込んでください。

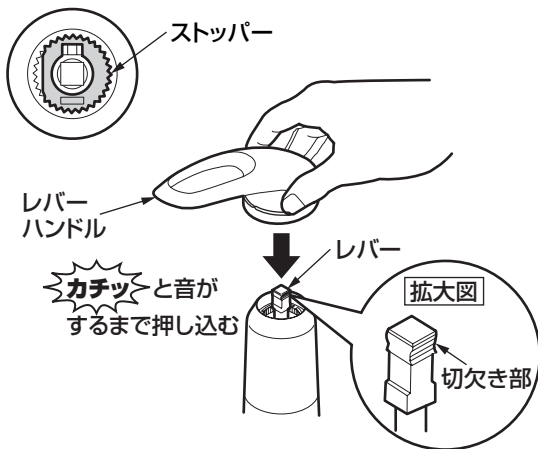
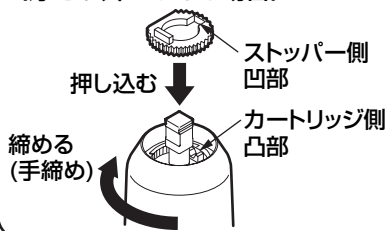
※カートリッジ押えの歯とストッパーの歯が合わないときは、カートリッジ押えを**締め込む方**に向けて歯を合わせるように調整してください。

- ② レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。  
 ③ レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

### 注意

レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向に注意してください。レバーの切欠きは**両サイド**にあります。

〈浮きや外れがある場合〉

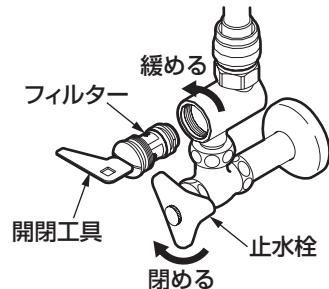


## 7 施工後の調節

### フィルターの掃除

取付け後は必ずフィルターを掃除してください。フィルターがつまると流量が少なくなったり、水又は、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉め、開閉工具でフィルターを外してください。(詳しくは取扱説明書の「日頃のお手入れ」を参照してください。)



## 使用上の注意

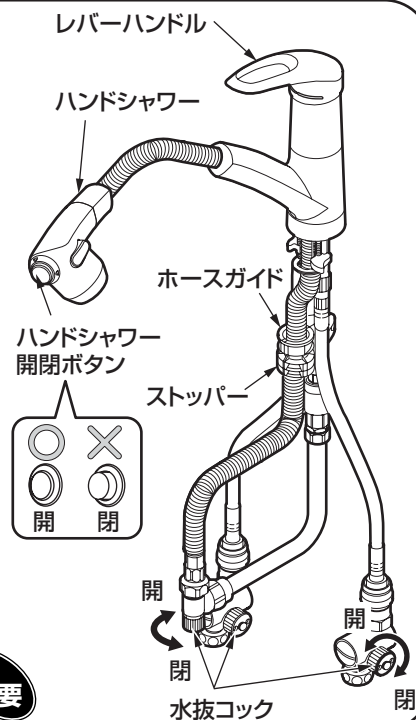
ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません**。お客様に十分で説明ください。

現象	説明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重たく感じる。	急に水を止めると、「ドン」といった不快な音が発生することがあります。この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたらいっているため、故障ではありません。
使いはじめにくらべて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

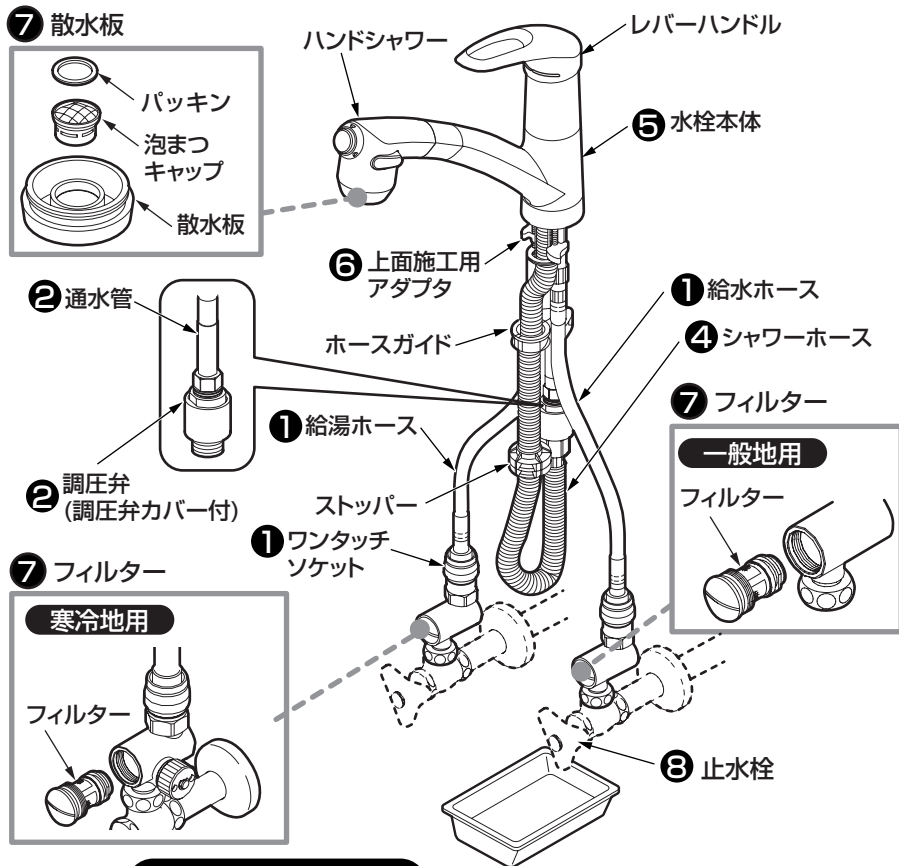
## 寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の元栓を閉め、水抜栓（配管部）を開ける。
2. レバーハンドルを中央位置で上げる。  
このとき、ハンドシャワー開閉ボタンが「開」の状態になっていることを確認してください。
3. シャワーホースを引き出す。  
シャワーホースに取り付けられているストッパーがホースガイドに当たるまでハンドシャワーを引き出してください。
4. 全ての水抜コックを開ける。  
※水抜コックは、湯側・水側・ホース部の3カ所にあります。
5. ホース内の水を抜き、ハンドシャワーを振ってからシンクの底に置く。  
※水抜き完了後は必ず水抜コックを閉めてください。
6. 水抜き完了後は、必ずレバーハンドルを下げると**重要**（水が出ない状態）



取付けが完了した後、次の項目を確認してください。



### 水出し確認

取付けが完了した後、配管部の元栓を開け、ハンドシャワーから水が出るか確認してください。



### 水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 給水・給湯ホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか？

↳ 6-3 - ④「ワンタッチソケットの取付け」参照

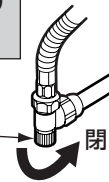
② 調圧弁及び調圧弁カバーは通水管にしっかり締め付けられていますか？

↳ 6-4 - ⑤「シャワーホースの取付け」参照

#### 寒冷地用の場合

③ 水抜コックは、しっかり閉まっていますか？

↳ 水抜コックを閉める。 ③ 水抜コック



### 動作確認

ハンドシャワーの動作はスムーズに行えるか確認してください。

④ シャワーホースにゆとりはありますか？

↳ 6-4 - ⑦「ストッパーの取付け」参照

### ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

⑤ 水栓本体の止めねじの緩みはないですか？

↳ 6-3 - ③「水栓本体の取付け」参照

⑥ 上面施工用アダプタはしっかり固定されていますか？

↳ 6-2 - ②「上面施工用アダプタの取付け」参照

### 流量及び吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

⑦ 散水板・フィルターのごみづまりはないですか？

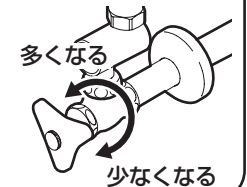


↳ 散水板の掃除をする。  
※取扱説明書「日頃のお手入れ」参照

↳ ⑦ フィルターの掃除 参照

⑧ 止水栓は開いていますか？

↳ 止水栓で流量を調節する。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。